

# いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成23年4月1日



## 「ふくはる香」～量販店での試食&販売を実施

2月5日(土)、6日(日)の2日間、株式会社マ尔特ショッピングセンター中岡店、株式会社ヨークベニマル好間店において、いちごの県オリジナル品種、「ふくはる香」のブランド化に向けて、試食による消費者へのPR活動を行いました。

消費者からは、「ふくはる香は、甘くて美味しい。」「昨シーズンに食べてから、ふくはる香を選んで購入している。」「いつ来店しても購入できるようにしてほしい。」などの貴重なご意見をいただきました。

いわき農林事務所では、福島県内だけで栽培されている、「ふくはる香」とその美味しさをより多くの方々に知っていただくために、今後もPR活動を継続していくこととしています。



(量販店で試食&販売の様子)



## 「ふくしま米消費拡大街頭キャンペーン」を実施

2月8日(火)、県産米の販売PR活動を強化し、改めて県民のみなさまに、ご飯を中心とした日本型食生活を一層推進

し、米の消費拡大を図るとともに、農業者の生産意欲の向上を目的として、福島県米消費拡大推進連絡会議と県との共催により、『ふくしま米消費拡大街頭キャンペーン』が県内7方部同時に実施されました。主な鉄道の駅を対象として、いわき地方では、JRいわき駅前で行われました。

キャンペーンは午前7時30分から約1時間、駅南口の駅前広場にのぼりを立てて、ごはんの日をPRするため、いわき農林事務所の職員がごはんの日のパンフレット、ごま塩のほか、ふりかけ3種、ポケットティッシュなどのPR用品を乗降する通勤・通学者に配布しました。

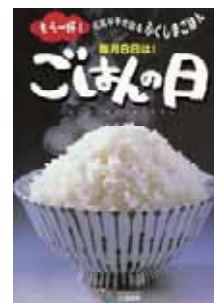


(JRいわき駅での街頭キャンペーンの様子)

短時間のキャンペーンでしたが、PR用配布物は通行者に笑顔で受け取られ、県産米のPRが図られました。

### ※ごはんの日

県では平成13年から、「もう一杯!元気な手が出るふくしまごはん」をキャッチフレーズとして、毎月8日を「ごはんの日」に決めました。米の字は「八十八」と書くことに由来し、「八」のイメージに末広がりで米の消費が広がる期待を込めたものです。



## 「いわき市直売所連絡協議会研修会」が開催されました。

2月10日(木)、JAいわき市新鮮野菜館 谷川瀬店において、いわき市農産物直売所連絡協議会主催による、「いわき市農産物直売所連絡協議会研修会」が開催されました。

農産物直売所においては、営業・販売、リサーチ、販促プロモーション、顧客サービスなどが運営の鍵となることから、マーケティング研修のため、同店での視察研修を行いました。

新鮮野菜館は、JAいわき市が市内に3店舗を運営し、野菜や米、肉・乳製品といった新鮮な農産物が幅広く購入できるとあって、大変人気の直売所となっています。

研修会では、担当者から概要などの説明を受け、その後、質疑を行いました。商品搬入のほか、集出荷やトレーサビリティ体制などについて、活発な質疑が行われました。

また、直売所のレベルアップとして、陳列棚をコンテナから木製に換えた結果、消費者からの評判が良くなったことなどが説明されました。

研修後は、参加者が直売所で購入した食材などを持ち寄ってランチミーティングを行い、いわき市の直売所スタンプラリーの結果などについて、情報交換を行いました。

その後のエコファーマー申請相談会では、直売所でのエコファーマーの活用策について説明があり、その場で2名が新規申請を行い、直売所での販売活動に役立てようとする意欲が感じられました。

## 「園芸王国ふくしま創造いわき地方推進会議」を開催

2月14日(月)、県いわき合同庁舎において、いわき市、JAいわき市、JAいわき中部、いわき市農業共済組合、全農福島浜通り営農事業所及び県機関などにより、「園芸王国ふくしま創造いわき地方推進会議」を開催しました。

昨年6月に当会議において策定した、『サンシャインいわき園芸産地強化戦略』の実現に向けた活動について、次年度の

産地強化に向けた取り組みについて協議しました。

消費者の皆様、いわきの園芸品目を知っていただくとともに、いわきで生産された農産物を選択していただくために、担い手である生産者及び関係機関が一体となって活動を進めていくこととしています。

### サンシャインいわき園芸産地強化戦略

園芸産地パワーアップ・地域の園芸品目魅力アップ  
プロジェクト品目 プロジェクト品目

トマト  
きゅうり  
日本なし

いちご  
ねぎ  
さやいんげん  
ブロッコリー  
いちじく  
切り花

## 「地球ファミリーいわきのつどい2011」が開催されました。

2月15日(火)、いわき市鹿島町のパレスいわきにおいて、「地球ファミリーいわきのつどい2011」が開催されました。

このつどいは、いわき市認定農業者協議会が、社団法人全日本司厨士協会の協力を得て、農業者自身が生産した農産物を使ったフランス料理を食べながら地元の消費者と交流するものです。

今年は第8回目を迎え、認定農業者の方々は、見事に変身した農産物に舌鼓を打ちながら、消費者に野菜等の栽培や収穫できるまでの苦労などを説明し、文字



(地球ファミリーのつどいの様子)

どおり地球ファミリーとして、「顔の見える関係」づくりに取り組みました。

また、米や野菜など認定農業者が生産した農産物のプレゼント抽選会では、大喜びする消費者の様子に、いわき地域の農産物の魅力を再認識するつどいとなりました。

## 「グリーン・ツーリズム推進会議」を開催

2月23日（水）、県いわき合同庁舎において、平成22年度いわき地方グリーン・ツーリズム※推進会議を開催しました。



（グリーン・ツーリズム推進会議の様子）

会議には、実践団体、行政機関等11団体が出席し、「いわきの里川前ふるさと体験交流委員会の取組について」、「遠野町地域づくり振興協議会の取組について」、「四倉ふれあい市民会議の取組について」と題し3団体から、今年度の取組についての事例発表が行われました。

引き続き、各団体の今年度の取組み実



（事例発表の様子）

績及び来年度の計画について説明がありました。

これらの事例を踏まえた意見交換会では、受入体制や体験についての質疑応答や各団体からの意見・要望があり、グリーン・ツーリズムの推進には、実践団体における取組の重要性が確認され、有意義な内容となりました。

※グリーン・ツーリズム

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

## 「いわき地域6次化商品等販売キャンペーン」を開催

2月25日（金）から2月27日（日）までの3日間、いわき地域産業6次化運営会議（事務局：いわき農林事務所・いわき地方振興局・水産事務所）の主催により、株式会社マルト ショッピングセンター中岡店、草野店において、「いわき地域6次化商品等販売キャンペーン」を開催しました。

いわき地域で開発された6次化商品等の認知度向上を図るとともに、消費者から、商品に対する意見・感想等をいただき、直接評価を受けることにより、商品の品質向上を図り、より良い商品の開発に資することを目的としています。

初日となる25日は、中岡店においてオープニングセレモニーを行い、いわき農林事務所 五十嵐企画部長の開催宣言により販売が開始されました。



（6次化商品等販売キャンペーンの様子）

両店舗とも、和・洋の菓子やジャム、水産加工品、乾物のほか特色ある豆腐など、32の企業・商店等から、100品目以上の多種多様な6次化商品等が出品され、大勢の買い物客で賑わいました。

会場では、消費者に6次化商品の味を実感していただくため、試食を行い、来店客は、商品の味を確かめながら、品定めしては買い物かごに入れていました。



(6次化商品等を品定めする来店者)

このキャンペーンにより、初めて、「地域産業の6次化」や「6次化商品」について見たり、知ったという声が数多く聞かれ、「地域産業6次化」について認知度向上が図られたほか、6次化商品に対して、消費者の生の声を直接くることができる貴重な機会になりました。

いわき地域産業6次化運営会議では、今後も6次化商品の開発と品質向上に向けて支援を行っていくこととしています。

※6次化商品 農林水産業（1次）と商工業（2・3次）が連携・融合して、農林水産物に付加価値を付けた商品。



「いわき農業青年クラブ連絡協議会視察研修」が実施されました。

2月25日（金）、26日（土）、いわき農業青年クラブ連絡協議会会員の経営技術及び将来の経営に資することを目的として、茨城県つくば市、「独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所」、「独立行政法人農業環境技術研究所」、「食と農の科学館」及び、「農業法人みずほ『農産物直売所 みずほの村市場』」において、視察研修を実施しました。

はじめに、「作物研究所」では、最新の研究成果、知見及び水稲品種の育種状況等について、次に、「農業環境技術研究所」で最新の研究成果、農業と自然環境との共生の重要性及び、地球温暖化と農業との関係について、そのほか、先進的な農産物直売所である「みずほの村市場」では、農産物の有利販売の重要性及び、販売方法等について研修しました。

参加者たちは、熱心に質疑を行い、理解を深め、今回の視察研修で学んだことを今後の農業経営に役立てるとともに、会員相互間の連携を深めることにより、協議会のさらなる発展に繋げていきたいと意欲を高めていました。



(作物研究所での研修の様子)

## いわき農林事務所からのお知らせ

平成23年3月11日発生の  
「東日本大震災」の災害復興のために！

がんばっぺ“ふくしま!!”がんばっぺよ“いわき!!”

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

(県いわき合同庁舎 3階) URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)



[iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)